

安全データシート (SDS)



SDS No.: X-2-1017-1

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : A200
 供給者の会社名称 : 伯東株式会社 システムプロダクツカンパニー 営業二部
 住所及び電話番号 : 東京都新宿区新宿1丁目1番13号 03-3225-8938
 FAX番号 : 03-3225-9011
 緊急連絡先 : 同上
 推奨用途及び使用上の制限 : 真空ポンプ用潤滑油

2. 危険有害性の要約

〔化学品のGHS分類〕

物理化学的危険性	引火性液体	: 区分に該当しない	
	可燃性固体	: 区分に該当しない	
	酸化性液体	: 分類できない	
	酸化性固体	: 区分に該当しない	
	金属腐食性化学品	: 分類できない	
	その他の危険性	: (上記以外の物理化学的危険性がある場合に記載)	
	健康に対する有害性	急性毒性 (経口)	: 分類できない
急性毒性 (経皮)		: 分類できない	
急性毒性 (吸入:蒸気)		: 分類できない	
急性毒性 (吸入:粉塵・ミスト)		: 分類できない	
皮膚腐食性/皮膚刺激性		: 分類できない	
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性		: 分類できない	
呼吸器感作性		: 分類できない	
皮膚感作性		: 分類できない	
生殖細胞変異原性		: 分類できない	
発がん性		: 分類できない	
生殖毒性		: 分類できない	
授乳に対する又は授乳を介した影響		: 分類できない	
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)		: 分類できない	
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)		: 分類できない	
誤えん有害性		: 分類できない	
環境に対する有害性		水生環境有害性 短期 (急性)	: 分類できない
		水生環境有害性 長期 (慢性)	: 分類できない
	オゾン層への有害性	: 分類できない	

〔GHSラベル要素〕

絵表示又はシンボル : なし

注意喚起語	：	なし
危険有害性情報	：	特になし
注意書き：安全対策	：	保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
応急措置	：	気分が悪いときは医師に連絡すること。
保管	：	換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
廃棄	：	内容物／容器を国／都道府県／市町村の規則に従って適切に廃棄すること。
国／地域情報	：	有用情報なし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	：	混合物
化学名又は一般名	：	水素処理重パラフィン系石油留分
CAS番号	：	非公開
官報公示整理番号	：	化審法番号及び労働安全衛生法番号は記載確認済み
GHS分類危険有害性成分及び濃度（濃度範囲）	：	特になし

4. 応急措置

吸入した場合	：	めまいや吐き気がする場合、風通しのよい場所へ移動し、新鮮な空気を吸わせる。異常があれば、医師の診断・手当を受ける。
皮膚に付着した場合	：	水と石鹼で十分洗い流す。汚染された衣類を直ちに全て脱ぐ。皮膚が高压スプレーに接触すると、体内に入る危険がある。外傷がなくても医師の診断・手当を受ける。
眼に入った場合	：	直ちに多量の水で15分以上洗眼し、刺激、発赤、痛み、又は持続的な視覚的不快感がある場合は、医師の診断・手当を受ける。
飲み込んだ場合	：	吐かせない。コップ1～2杯の水を与え、口をすすぎ、直ちに医師に連絡する。被災者に意識が無い場合は、口から何も与えてはならない。吸入が疑われる場合（例えば嘔吐の発生）、直ちに病院に搬送する。
予想される急性症状及び遅発性症状並びに最も重要な徴候及び症状	：	有用情報なし

5. 火災時の措置

適切な消火剤	：	水（霧状）、強化液消火剤（霧状）、泡消火剤、二酸化炭素消火剤、粉末消火剤
使ってはならない消火剤	：	棒状放水
特有の消火方法	：	棒状放水は火災を拡大させる恐れがあるため、初期の火災には水（霧状）、強化液消火剤（霧状）、二酸化炭素消火剤、粉末消火剤を用いる。大規模火災の場合には、強化液消火剤、泡消火剤を用いる。
特有の危険有害性	：	火災時の燃焼や高温により、有害なヒュームやガス（窒素酸化物、炭素酸化物、硫黄酸化物、硫化水素など）が発生する可能性がある。
消火を行う者の保護具	：	状況に応じて適切な保護具（呼吸用保護具、防護服、保護手袋、長靴、保護メガネ等）を着用し、製品の吸入や接触を避ける。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- ・作業者は状況に応じて適切な保護具（呼吸用保護具、防護服、保護手袋、長靴、保護メガネ等）を着用し、製品の吸入や接触を避ける。また、作業は風上から行う。

環境に対する注意事項

- ・漏出物を直接、河川などに流したり、飛散させたりしてはならない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

- ・少量の場合、おがくず、ウエス、乾燥砂等に吸収させて密閉可能な空容器に回収する。
- ・吸収させたものは火災の危険があるため、蓄積せずに、直ちに安全な方法で廃棄する。
- ・多量の場合、盛り土等で囲って流出を防止し、密閉容器に回収する。
- ・環境に排出しない。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	技術的対策	: 「8. ばく露防止及び保護措置」を参照 取扱い時には局所排気、全体換気を行うこと。
	安全取扱注意事項	: 「2. 危険有害性の要約（注意書き）」を参照 取扱い時は、適切な保護具を着用する。 容器を転倒・落下させる、衝撃を加える、又は引きずる等の粗暴な取扱いをしない。 火気及び高温体の近くで取り扱わない。 蒸気を吸い込まない。 皮膚や眼への接触を避ける。 使用中は飲食、喫煙をしない。
	接触回避	: 「10. 安定性及び反応性」に記載の混触危険物質との接触を避ける。 他薬品を混入しない。
保管	安全な保管条件	: 「10. 安定性及び反応性」に記載の混触危険物質と同一場所に保管しない。 密閉状態で換気が良好な冷暗所に保管する。 火気及び高温体の近くで保管しない。
	安全な容器包装材料	: 高密度ポリエチレン

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度	: 設定なし
許容濃度	: 鉍油：(鉍油ミストとして) 3mg/m ³ (日本産業衛生学会, 2019年版) (TLV-TWA) 5mg/m ³ (ACGIH, 2017年版)
設備対策	: 法で定められたものはない。取扱い場所近くに洗眼及び身体洗浄の設備を設ける。
保護具	
呼吸器用保護具	: 必要に応じ、保護マスクを使用する。
眼の保護具	: ゴーグル型又はサイドシールド付保護メガネ
手の保護具	: 耐油性保護手袋
皮膚及び身体の保護具	: 耐油性保護エプロン（保護衣、前掛け）及び保護靴等

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 液体	pH	: 測定データなし
色	: 薄茶色透明	動粘性率	: 58 mm ² /s (40°C) 8.5 mm ² /s (100°C)

臭い	: 鉱油臭	粘性率	: 測定データなし
融点/凝固点	: <-10°C	溶解度	: 非水溶性
沸点又は初留点及び沸騰範囲	: 127°C～ (0.01 Torr)	n-オクタノール/水分配係数(log値)	: 測定データなし
可燃性	: 可燃性	蒸気圧	: < 0.0001 Torr
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	: 測定データなし	密度及び/又は相対密度	: 0.87
引火点	: 220°C	相対ガス密度	: 測定データなし
自然発火点	: 測定データなし	粒子特性	: 測定データなし
分解温度	: 測定データなし	その他	: 有用情報なし

10. 安定性及び反応性

反応性・化学的安定性	: 安定
危険有害反応可能性	: 危険な重合は起こらない。
避けるべき条件	: 裸火、熱源、着火源、直射日光
混触危険物質	: 強酸化剤、強酸性物質、強アルカリ性物質
危険有害な分解生成物	: 通常の条件下では分解しない。

11. 有害性情報

急性毒性	: 測定データなし
皮膚腐食性/皮膚刺激性	: 測定データなし
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 測定データなし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: 測定データなし
生殖細胞変異原性	: 測定データなし
発がん性	: IP346法によるDMSO抽出物が3%未満であるため、発がん性物質として分類される必要がない高度精製基油である。
生殖毒性	: 測定データなし
授乳に対する又は授乳を介した影響	: 測定データなし
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	: 測定データなし
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	: 測定データなし
誤えん有害性	: 測定データなし
有害性—その他	: 当潤滑油に長時間又は繰り返し接触により、特に高温において皮膚の脂質層を剥がす恐れがある。使用中に蓄積した有害不純物を含む場合があり、皮膚や眼への刺激を増大させる可能性がある。 皮膚接触：長時間又は繰り返し接触により、皮膚炎を引き起こす場合がある。特徴的な皮膚病変（にきび）は、汚染された衣類に接触した状態で長時間、繰り返しばく露すると発生する。 眼接触：目に入った場合、特に長期間接触は刺激する。 吸入：高濃度の蒸気又はエアゾールは、呼吸器系と粘膜を刺激する可能性がある。肺障害を引き起こすことがある。

1 2. 環境影響情報

生態毒性（魚毒性）	： 測定データなし 水不溶性の混合物なので、堆積物に付着し、物理的に水生生物に影響を与える場合がある。
残留性・分解性	： 測定データなし
生体蓄積性	： 測定データなし
土壌中の移動性	： 測定データなし
オゾン層への有害性	： 有用情報なし
その他	： 有用情報なし

1 3. 廃棄上の注意

廃棄の方法、残余廃棄物

- ・「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等および地方自治体の基準等に従う。
- ・都道府県知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者または地方公共団体が廃棄処理を行っている場合は当該地方公共団体に委託して処分する。

汚染容器および包装

- ・容器は洗浄してリサイクルまたは関連法規制並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
- ・空容器を処分する場合は、内容物を完全に除去する。

1 4. 輸送上の注意

国際規制（陸上、海上、航空）

国連番号	： 該当せず
品名	： 該当せず
国連分類	： 該当せず
副次危険性	： 該当せず
容器等級	： 該当せず
海洋汚染物質	： 非該当

特別の安全対策

- ・運搬の際、容器に漏れが無いことを確認し、転倒、落下が無いように荷崩れ防止を確実にを行う。

緊急時応急措置指針番号

： 1 2 8

国内規制

航空法	： 該当せず
船舶安全法	： 該当せず
道路法	： 該当せず

1 5. 適用法令

労働安全衛生法

通知対象物質（法第57条の2）	： 鉱油（100%）
表示対象物質（法第57条）	： 鉱油
危険物（令別表1）	： 該当せず
特定化学物質（特化則）	： 該当せず
有機溶剤（有機則）	： 該当せず

消防法	: 危険物 第4類第4石油類、危険等級III
毒物及び劇物取締法	: 該当せず
化学物質管理促進法	: 該当せず
水質汚濁防止法（法第2条）	: [有害物質] 該当せず [指定物質] 該当せず
その他	: 有用情報なし

16. その他の情報

本文書は、JIS Z 7252 : 2019 及び JIS Z 7253 : 2019に基づいて作成しております。

本文書の記載内容は、当社の最新の情報に基づくものですが、安全性を保証するものではありません。また、含有量、物理／化学的性質、危険有害性などの記載内容は、情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。

すべての化学品には未知の有害性がありうるため、取扱いには細心の注意が必要です。

この情報は新しい知見及び試験等により、改訂されることがあります。

注意事項等は、通常の実用を対象としたものです。実際のご使用の際には、ご使用者各位の責任において、安全な使用条件の設定が必要となります。

以上